

おだか

第30号

2015

平成27年2月18日(水)

南相馬市

小高小学校

学校だより

鼓笛移杖式

2月16日(月)、体育館にて、鼓笛移杖式を行いました。

昨年12月より新メンバー編成を行い、昼休みを利用してそれぞれのパートで一生懸命練習した成果が披露されました。児童数が減少

している中で、小高小の伝統をつないでいきたいという願いから、全校児童が一つになって取り組んでいる活動です。

前半に練習を行った後、後半はいよいよ移杖式となりました。指揮は6年の佐藤小陽さんから、5年の佐藤遥愛さんに引き継がれました。6年生も自分の教えたパートが気になった様子ですが「とても上手でした。」とほめてくれました。

今度は、現在の5年生が中心となって、学習発表会での披露となります。それまで、6年生から教えていただいたことを忘れずに、これからも伝統を守っていききたいと思います。



演奏を披露する1~5年生。



移杖の様子

大なわ大会に向けて

17日(火)から始まる「なわとび記録会」とは別に、運動委員会の主催する「大なわ大会」が18日(水)にあります。

2分間の間に、8の字とびでどのくらいの回数を跳べるかを競います。「なわとび記録会」が個人戦とすれば、こちらはチームを作ったの団体戦です。みんなが力を合わせて新記録をめざします。1年生は、縄に飛び込むタイミングがとれず、最初は大変な勇気が必要だったようです。しかし、

担任に声をかけてもらったり、背中を軽く押されたりしながら、急速に上達しています。



大なわとびでがんばる1・2年生

学校賞をいただきました

17字のふれあい

相双教育事務所主催事業「17字のふれあい」にて、小高小学校は学校賞をいただきました。「選考作品集」に載せられた子どもたちの作品を以下にご紹介します。

それぞれの句から、夏の香がよみがえるとともに、親子のすてきな関係も感じ取れますね。

| | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|--|--|
| <p>野馬追に 武者の友達 りりしくも 若武者の 懐かし声に はみかみて</p> <p>六年 越田 幸晟 母 越田 美佐子</p> | <p>クールビズ インターホン鳴り かくれんぼ 夕立に 猫とゴロゴロ 裸ん坊</p> <p>六年 亀田 伊織 母 亀田 和香子</p> | <p>母のまね 初めてにぎる 塩むすび 具無しでも 愛情入った 塩むすび</p> <p>五年 板垣 潤也 母 板垣 希</p> | <p>忘れない 親子で見てた 海の青 夏空と 忘れられぬは 桃の味</p> <p>五年 福島 紫恩 父 福島 昇</p> | <p>作ろうよ 夏の恒例 五七五 夏休み 語らい和む 五七五</p> <p>四年 湊 知也 母 湊 陽子</p> | <p>おきなわの 海はまるで りゅう宮じょう 童心に 戻り背中 の 日焼け跡</p> <p>三年 佐藤 享介 父 佐藤 幸一</p> | <p>ディサーブス いっしょにいったよ ひいばあと 七才と 八七七才 歌合戦</p> <p>二年 高野 日和 母 高野 亜希</p> | <p>あさがおと いっしょにおきた なつやすみ 朝顔の ツルも子供も のびてゆく</p> <p>一年 村上 旺輔 父 村上 輝実</p> |
|---|---|---|--|--|--|--|--|

インフルエンザ流行のきざし!!

寒暖の差がはげしい日々が続いています。小高小は、これまでの所インフルエンザの広がりもなく、落ち着いた環境で学習にはげんでいます。

過日、原町からの通学バスで通っている児童・生徒が、インフルエンザにかかったという情報が入ってきました。小高小の児童には、予防のためすでにマスクを着用させておりますが、帰宅後のうがいや手洗いについてもご協力くださるようお願いいたします。

